

今年のテーマは【伝統から未来へ】です。109年の歴史を重ねてきた山桜会は、来年の110周年に向けて新たな一歩を踏み出します。第1部では、ノーベル賞受賞者・山中伸弥教授と共に、未来医療の可能性を切り開くiPS細胞研究に携わった小107期・田邊剛士氏の講演をお届けし、第2部では、古来の楽器・箏の音色に心を寄せる茨高31期・田中美香氏の演奏をお楽しみいただけます。伝統と未来をつなぐ本フェスタが、世代を超えて心に残る時間としてまいりたいと存じます。ぜひご参加ください。



開催日 **2025年6月22日(日)**

場 所

1部会場

追手門学院 大手前ホール

(追手門学院大手前中・高等学校本館6階)

※駐車スペースがございませんので留意下さい。

2部会場

OMMビル1階 グラン

(OMMビルへの移動は各自徒歩にてお願いします)

プログラム (11時30分受付開始)

[1部]

12時00分 定時総会

12時45分 田邊 剛士氏 講演

[2部]

14時00分 田中 美香氏 演奏

14時30分 懇親会&40歳同窓会

〈会費無料〉



OMMビル1階
グラン101・102



田邊 剛士氏
(小107期)

田邊 剛士 講演会「iPS細胞医療の現在と私が起業家になったわけ」

本講演では、iPS細胞の研究に携わる中で感じた可能性と、そこから広がった挑戦についてお話しします。前半では、技術の基本や研究の背景に触れつつ、再生医療、創薬、免疫治療など多様な応用事例、臨床開発や産業応用の現状と課題を紹介します。また、iPS細胞が医療にもたらす意義や社会的な期待、今後の展望についてもお伝えします。後半では、研究者から企業経営者に転じた経緯、I Peace, Inc.の創業、医療用iPS細胞の提供や個人向け細胞バンキング、国際連携、規制対応、社会実装に向けた幅広い取り組みをご紹介します。細胞医療を日本の次世代産業として根付かせ、世界をリードする拠点づくりを目指しています。

【プロフィール】 2006～2013年、京都大学・山中伸弥研究室にてiPS細胞研究に従事し、世界初のヒトiPS細胞樹立論文の第二著者を務める。スタンフォード大学での研究を経て、2015年に米国シリコンバレーでI Peace, Inc.を創業。医療用iPS細胞の提供や個人向けバンキング事業を展開し、iPS細胞の社会実装と日本の産業化に尽力。現在は製薬企業と連携し、次世代医療の実現を目指している。国内外で多数の賞を受賞。



田中 美香氏
(茨高31期)

田中 美香 (箏曲演奏者) 箏の名曲【古典から現代】

演奏曲目(予定)

六段の調(八橋検校 江戸時代前期作曲)
ロンドンの夜の雨(宮城道雄 1953年作曲)
鳥のように(沢井忠夫 1985年作曲)
上を向いて歩こう(坂本九 1961年楽曲)他

【プロフィール】 東京藝術大学音楽学部邦楽科生田流箏曲専攻卒業。沢井忠夫、松尾恵子両氏に師事。リサイタル、NHK放送、国際フェスティバル、邦楽鑑賞教室、画廊コンサートなどで活動。2020年より日本の調べ実行委員会を主宰し、和と洋を融合した演奏で日本の歌や音楽を発信。邦楽の普及と発展に努める。朝日カルチャーセンター新宿校講師。



※山桜会オフィシャルウェブサイトまたは会報同封のががきの郵送、以上のどちらかのお申込みをお願いいたします。



田中 昭安先生、谷川 譲二先生、田橋 知直先生
ご出席されます

卒業生フェスタ併催 40歳同窓会

ご案内は既に郵送しております

会費
無料

40歳を迎えられる卒業期

小学校109期(平成10年3月卒)
大手前中学52期(平成13年3月卒)
茨木中学32期(平成13年3月卒)
大手前高・茨木高52期(平成16年3月卒)